

神戸ウイングスタジアム

～ 運営管理と一体となった ユニバーサルデザインに配慮された施設～

神戸ウイングスタジアムは、当初からユニバーサルデザインを意識して建設されており、わかりやすく、安心して利用できる施設を目指しています。スタジアム内には、さまざまな優しさが込められています。

神戸ウイングスタジアムは、2002年に行われたサッカーW杯に併せて建設されました。

特徴としては、施設整備主体は神戸市ですが、事業計画から設計、施工及び管理運営までを一貫して民間事業者が行う公設民営方式が採られています。

サッカー、ラグビー等のスポーツイベントが行われる会場

として、多くの人々が来場されるため施設内には、ユニバーサルデザインを意識した様々な配慮がなされています。



スタジアム内のユニバーサルデザインの配慮

・車いすからの視界



ウイングスタジアムの車いす席は、1層目スタンド両サイドに設置されており、全体で70席あります。試合で、車いす席が足りない場合には、VIP席や通路を割り当てて対応しています。

他のスタジアムに比べ、ウイングスタジアムの車いす席は、車いすからの視界が確保されており、ゴールシーンなどで前の観客が興奮して立ち上がっても、車いす席から一番見たいシーンを見逃してしまうことはありません。

・ピクトサインは多言語併記



国際試合などで、外国人が訪れることも多いので、スタジアム内のサインは、4カ国の言葉で併記されています。

・ユニバーサルトイレ



通常のトイレとは別に、ユニバーサルトイレが設置されています。また、選手控え室のトイレも、体格の大きい選手が多いことから、大きいサイズのトイレが設置されています。



・すべての人が利用しやすいレストラン

レストラン(ウルティモ)は、スタジアム入口付近に設置され、スタジアムの奥まで移動しなくてもよく、試合のない日でも多くの人利用しやすい作りとなっています。

基本的に試合のない日も営業できる、という運営管理の立場から考えられ、ユニバーサルデザインの発想から計画されました。

・関係者からの一言

「スタジアムを作ったら終わりではなく、運営と一体となったユニバーサルデザイン計画を実施し、継続的な運営をしていきたい。そのためには、公平性の観点からの取組も大事ですけれど、公益性も重視し、地元企業として地域に密着した運営を行っていき、周りとともに発展していくスタジアムを目指したいと考えています。施設整備(ハード面)で足りない部分はサービス(ソフト面)で柔軟に対応していきます。」と、神戸ウイングスタジアムの園田さん。



【連絡先等】

問い合わせ先) 神戸ウイングスタジアム株式会社

所在地) 〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1丁目2番地2

TEL) 078-652-5656 FAX) 078-652-5651